

各 位

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

突然、不躰なお手紙を差し上げる失礼をお許してください。

さて、用件ですが、お伺いさせて頂きたいことがあるのですが、御社は、産ませた飼い主の里親探し、ペット店の宣伝に紙面を提供されてますでしょうか。もし、提供されているのであれば、動物福祉の観点（ならびに公共の福祉に寄与する観点）から、お止め頂きたく存じます。これについて、お忙しい中、恐縮ですが22年2月28日迄にご回答のほど、お願い申し上げます。敬具

#### 【要望理由】



産ませた飼い主は命を持て余しているからこそ、里親を探すのです。自分では飼えないため、一日も早く家から追い出すように、誰かれ構わず喜んで譲渡します。

一方、譲渡を受ける側は、初めは、子犬子猫の愛くるしさに惹かれ、「一生、大切に大切に飼います」と言い、初めから、「いずれは棄てるかも知れない」「いずれは保健所へ渡すかも知れない」「いずれは野良化させるかも知れない」「不妊手術を受けさせず、子を産ませて保健所へ渡すかも知れない」などと言う人はいません。

譲渡を受けたいのですから、良いことだけを並べたてます。

現に、福島民報のハガキ投書コーナーを読んで、譲渡を受けた二本松市内の飼い主が保健所へ渡した例もありますし、譲渡を受けた後、産ませて、同コーナーで里親探しをしていた例もあり、まさに「悪循環」です。

動物人口過剰だからこそ処分されているのですから、正しく飼える方は、保健所から譲渡を受けて飼うべきではないでしょうか。産ませることは、更に動物人口を増やしますので、保健所からレスキューするチャンスを狭め、遺棄された動物やのら犬のら猫を保護するチャンスを狭めるのです。

飼い主から見捨てられて、暗くて冷たい保健所で、処分を待っている子たちは、

一度は飼い主から大切にされた子や、産まれたばかりの小さな命、、、

野良としてエサを探し求めてさまよい、衰弱していく命、、、

交通事故に遭う命、、、

不妊手術を怠った飼い主が命を持て余して、誰かれ構わず譲渡したことが原因なのです。

また、ペット店は売れ残り動物を虐殺（毒殺、床へたたきつけて殺す、首をひねって殺す）したり遺棄します。一匹売るために陰でどれだけ多くの命が虐殺されているかを考えるとペッ

ト店から購入することは、虐殺を支えていることになるのです。

以上の理由から、産ませた飼い主やペット店へ紙面を提供することをお止めになることで新聞人としての公益使命（新聞倫理綱領）を果たして頂ければ幸いです。

また、御社の良心を信じております。

## お知らせ

産ませる飼い主達を相手どって調停を起こす道義的根拠・法的根拠を福島簡裁が認めましたので、今後は、新聞へ掲載の産ませた飼い主や動物商を相手どっての調停・裁判が全国的に行われるかも知れません。

### 《調停員が当方の主張を認めた理由》

一般・動物商を問わず、苦しむ動物を看過できない性分の有志の『生活権を侵害』（基本的人権の侵害）しているから。その根拠は、去勢避妊を怠り、産ませる人間が存在することで動物が粗末にされ、それが自費活動の有志の活動意欲を引き出している為、有志の経済的負担・精神的苦痛と産ませる飼い主（一般・動物商を問わず）とは因果関係があるから。

22年2月1日

二本松アニマルポリス  
Yahoo!から「二本松アニマルポリス」で検索できます  
〒960-8066福島市矢剣町11-3  
星野節子  
024-563-7650(tel fax)  
police@b-serv.jp